

平成31年度から令和3年度までの実施施策に係る政策評価書

(防衛省31～3-⑨)

施策名	情報機能の強化					
施策の概要	<p>政策判断や部隊運用に資する情報支援を適時・適切に実施するため、情報機能を強化する。特に、各種事態等の兆候を早期に察知し迅速に対応するとともに、中長期的な軍事動向等を踏まえた各種対応を行うため、情報の収集・処理、分析・共有、保全の各段階における機能を強化する。</p> <p>その際、情報処理分野における技術動向にも留意しつつ、新たな領域に係るものも含め、電波情報、画像情報、人的情報、公開情報等に関する収集能力・態勢を強化するとともに、情報収集衛星を運用する内閣衛生情報センター等の国内の関係機関や同盟国等との連携を強化する。また、情報収集・分析要員の確保・育成や、情報共有のためのシステムの整備・接続等を進める。さらに、より強固な情報保全体制を確立するとともに、カウンターインテリジェンスに係る機能を強化する。</p>					
達成すべき目標	<p>①電波情報、画像情報、人的情報、公開情報等に関する収集能力・態勢を強化</p> <p>②情報収集・分析要員の確保・育成や、情報共有のためのシステムの整備・接続等</p> <p>③より強固な情報保全体制を確立するとともに、カウンターインテリジェンスに係る機能を強化</p>					
施策の予算額・執行額等	区分		平成31年度	令和2年度	3年度	4年度
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	0	0	0	0
		補正予算(b)	<3,221,451>	<3,309,051>	<3,249,102>	<3,243,965>
		繰越し等(c)				
		合計(a+b+c)				
執行額(百万円)			0	0		

※ 下段<>外書きは、複数の政策にまたがる予算及び複数の政策にまたがると整理できる予算であり、総額の「内数」で掲記している。
 ※ 令和2年度に現政策体系に応じた予算の組み替えを実施済であるため、平成31年度については予算額のみ記載している。

施策に関する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	<p>中期防衛力整備計画(平成31年度～平成35年度)</p> <p>Ⅲ-2-(6)情報機能の強化</p>
-----------------------------------	---

測定指標	1. 各種情報に関する情報収集施設等の維持・整備		
	施策の進捗状況(実績)		目標
	<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、情報本部の各種情報収集・処理機能等の維持・運営及び充実・強化(画像解析用データの取得、電波情報の収集能力を向上させるための電波監視装置の更新等)を実施した。 ●各自衛隊・情報本部が収集した広範・多岐にわたる情報を集約し、オールソース分析を実現するため、情報本部共通基盤を整備した。 ●太平洋側の広大な空域を含む我が国周辺空域の警戒監視能力の強化のため、早期警戒機(E-2D)9機の取得経費(平成31年度予算約1,940億円)を計上した。 		<p>関連装備品等の維持・整備(延命処置・機能向上を含む)</p>
			達成
			③
	2. 情報の収集・処理体制及び収集した情報の分析・共有体制の強化		
施策の進捗状況(実績)		目標	
<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人的情報収集機能の強化に向け、諸外国の情報機関の活動に係る調査研究を実施するとともに、防衛駐在官制度についても兼轄により平成31年度にブルネイ及びEU日本政府代表部並びに令和2年度にセーシェル及びトンガに活動範囲を拡大し、令和3年度にニュージーランド及びスペインに新規派遣並びにイスラエルへの追加派遣を行う等充実を図った。 ●防衛駐在官候補者に対する研修を強化した。 ●新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面での意見交換が困難となったことを受け、試行的にアジア地域、欧州地域、中東・アフリカ地域等に派遣されている防衛駐在官とテレビ会議を実施し、意見交換を行った。 ●防衛駐在官をカナダに新規派遣することを令和4年度予算に計上した。 		<p>防衛駐在官制度の充実を始めとする人的情報収集機能の強化等</p>	
		達成	
		③	
施策の進捗状況(実績)		目標	
<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、分析官育成に係る体制や教育・研修内容の強化に向けた取組を進めた。 ●能力の高い要員の確保・育成のため、採用方法、採用区分及び人事構成の検討を実施した。 		<p>能力の高い分析官の確保や教育課程の強化等による情報収集・分析に携わる要員の確保・育成</p>	
		達成	
		③	

測定指標	3. 情報管理の徹底		
	施策の進捗状況(実績)	目標	達成
	<p>【平成31年度から令和3年度までの主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●秘に指定されている情報の管理をより万全とするため、通達の一部を改正し、管理要領をより明確化して周知徹底を図った。 ●国会に置かれた情報監視審査会の調査や内閣府独立公文書管理監の検証・監察に適切に対応するとともに、当該内容を踏まえ、各機関等の担当者に対し、改めて、特定秘密の保護全般に関する周知・教育を徹底した。 ●部隊等を巡回し、特定秘密管理者補や特定秘密取扱者等を対象に特定秘密制度の教育を実施する等、特定秘密の保護に関する周知徹底を図った。 ●不開示情報を含む文書管理をより適切に行うため、注意通達を改正し、特に嚴重に取扱う場合に取扱者の範囲を明らかにすることができる表示等を追加し、周知徹底を図った。 ●カウンターインテリジェンス体制の強化を図るため、カウンターインテリジェンス業務に専従する班の設置を令和4年度予算に計上した。 	<p>秘密のみならず、対外的に公表されるべきでない情報も含め、各レベルの情報の管理について、具体的な管理要領の見直しも含め、その徹底を図る</p>	③

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) ③相当程度進展あり (判断根拠)
	施策の分析	<p><測定指標1> ●各自衛隊・情報本部が収集した広範・多岐にわたる情報を集約し、オールソース分析を実現するため、情報本部共通基盤を整備する等、計画的に実施しており、目標に向かって着実に進展している。</p> <p><測定指標2> ●兼轄により平成31年度にブルネイ及びEU日本政府代表部、令和2年度にセーシェル及びトンガに活動範囲を拡大し、ニュージーランド及びスペインに新規派遣並びにイスラエルへの追加派遣を行う等、目標に向かって着実に進展している。</p> <p><測定指標3> ●カウンターインテリジェンス体制の強化を図るため、カウンターインテリジェンス業務に専従する班の設置を令和4年度予算に計上する等、計画的に実施しており、目標に向かって着実に進展している。</p> <p>以上のことから、相当程度進展ありと判断した。</p>
	次期目標等への反映の方向性	<p><測定指標1> ●目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 ・情報本部の各種情報収集・処理機能等の維持・運営及び充実・強化並びにオールソース分析を実現するための情報本部共通基盤の整備</p> <p><測定指標2> ●目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 ・防衛駐在官の兼轄による活動範囲拡大、新規派遣及び追加派遣による情報の収集体制の強化並びに各地域に派遣されている防衛駐在官との意見交換の促進</p> <p><測定指標3> ●目標に対して、以下の取組により施策の進捗に寄与 ・秘密を含む不開示情報を適切に情報管理を行うための管理要領の明確化及び周知徹底</p> <p>①電波情報、画像情報、人的情報、公開情報等に関する収集能力・態勢を強化 ②情報収集・分析要員の確保・育成や、情報共有のためのシステムの整備・接続等 ③より強固な情報保全体制を確立するとともに、カウンターインテリジェンスに係る機能を強化 情報本部の各種情報収集・処理機能等の維持・運営及び充実・強化、各自衛隊及び情報本部が収集した情報の集約・分析のための基盤整備、防衛駐在官の兼轄による活動範囲の拡大、分析官育成に係る取組の推進、特定秘密の保護全般に関する周知・教育の徹底等、引き続き、情報収集・処理・分析・共有、保全の各段階における機能強化及びカウンターインテリジェンスに係る機能強化に取り組んでいく。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	施策は順調に進展しており、特に意見なし。
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防衛省ホームページ ○ 防衛白書(令和元年～3年) ○ 我が国の防衛と予算(平成31年～令和3年)

担当部局名	防衛政策局及び防衛装備庁	政策評価実施時期	令和4年6月
-------	--------------	----------	--------

※ 「測定指標の達成欄」及び「評価結果」の「(各行政機関共通区分)欄」については、達成状況を以下の5段階区分の数字を記入。
①目標超過達成、②目標達成、③相当程度進展あり、④進展が大きくない、⑤目標に向かっていない